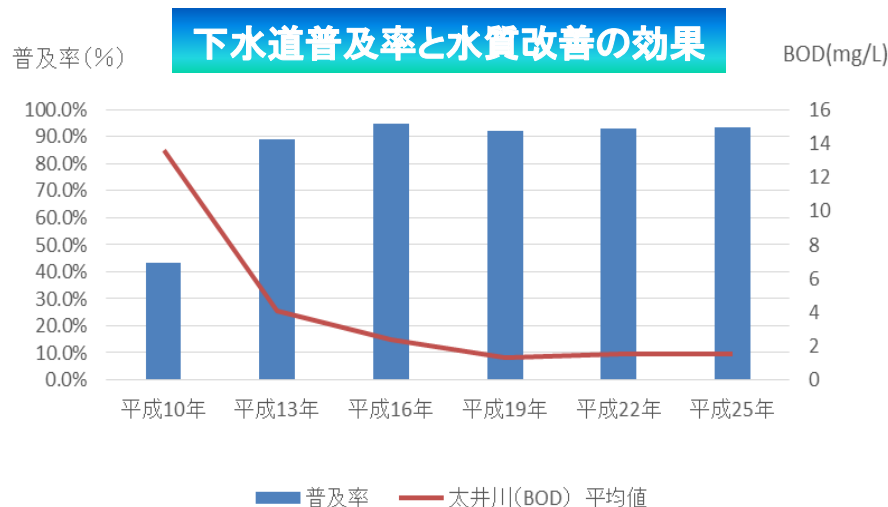


下水道でよみがえる万葉のせせらぎ

- 平成10年度に、河川のBOD数値が1リットル当たり10mg以上検出されるほど河川水質悪化
- 平成2年度から下水道事業に着手、平成25年度末に下水道普及率が93.4%に到達
- 町内河川の水質が改善し、梅川流域で絶滅危惧種である『カワバタモロコ』の生息が確認され、子どもたちの水環境学習に効果絶大



※カワバタモロコとは

日本固有種のコイ科で全長約5cmの小さな淡水魚。生息が確認されている府県全てで絶滅の危険性を示す、絶滅のおそれがある動植物のリストであるレッドデータブックに記載されており、特に大阪府では、絶滅危惧Ⅰ類相当に選定されている。

真夏の生き物観察会をする小学生



住民団体による小学生への水環境学習の様子

